



CentreCOM® IA810M リリースノート

この度は、CentreCOM IA810M（以下、特に記載がないかぎり「本製品」と表記します）をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。

このリリースノートは、取扱説明書とコマンドリファレンスの補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 2.3.2

2 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン 2.3.2 には、以下の制限事項があります。

2.1 SNMP

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「SNMP」

SNMP マネージャのタイムアウトによって、同時に 5 個以上の SNMP マネージャから ifEntry を Get できない場合があります。SNMP マネージャのタイムアウト値を長く設定するようにしてください。

2.2 ポートランキング

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」

- トランクグループを以下のいずれかの条件で複数作成し、512 個以上の MAC アドレスが使用される通信が発生している状態で、トランクポートの追加と削除を繰り返し実施すると、本製品がリポートすることがあります。
 - ・ トランクグループの所属ポートに 512 個以上のスイッチフィルタが登録されている
 - ・ トランクポートの通信モードがポート本来の通信モードと異なる設定になっている
- 通信により FDB に MAC アドレスが学習された状態でトランクポートの設定削除を行った場合、本製品がリポートすることがあります。
トランクポートの設定削除を行う場合は、削除を行う前にトランクポートに接続されているケーブルを抜く、またはトランクポートの FDB に MAC アドレスが学習されないようにすることで、本現象を回避できます。

2.3 IGMP Snooping

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「IGMP Snooping」

- IGMP Snooping 有効時、IGMP パケットの通信中にグループの所属 VLAN を変更すると、IGMP Snooping 用のテーブルから変更前の VLAN 情報が削除されません。
- IGMP Snooping 有効時、メンバーが存在するポートをミラーポートに設定しても、IGMP Snooping 用のテーブルから該当ポートの情報が削除されません。
- IGMP Snooping と、EPSR アウェアまたはスパニングツリープロトコル併用時、経路の切り替えが発生したときにマルチキャストグループの登録がクリアされないため、切り替え前に登録されたルーターポートが残ったままになります。

なお、EPSR アウェアについては、CREATE EPSR コマンドの DELETEDEMCAST オプションで、リングトポロジチェンジ発生時にマルチキャストグループのエントリーを FDB から削除する設定が可能です。

2.4 スパニングツリー

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「スパニングツリープロトコル」

本製品の実装では、トポロジチェンジ発生時にエッジポートに設定されたポートの FDB が消去されます。

2.5 Web GUI

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「Web GUI」

Web GUI でマルチプル VLAN (Protected Port 版) のポート設定を行う際、グループ番号の設定変更とタグなし / タグ付きの設定変更を同時に行うことができますが、個別に変更するようにしてください。

グループ番号の変更とタグなし→タグ付きの変更を同時に行った場合、該当ポートがタグなしとしてデフォルト VLAN にも追加されます。

3 マニュアルの補足・誤記訂正

最新マニュアル (取扱説明書、コマンドリファレンス) の補足事項および誤記訂正です。

3.1 ポリシーベース QoS の最大帯域

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「QoS」 / 「ポリシーベース QoS」

コマンドリファレンスの「最大帯域 (帯域制限)」についての記載に誤りがありました。下記のとおり訂正して、お詫びいたします。

誤：

Note - 実際に制限される帯域は、MAXBANDWIDTH パラメーターで設定された最大帯域幅より高いレートとなる場合があります。トラフィックのフレームサイズが小さいほど誤差が大きくなり、最大 15Mbps 程度の誤差が発生します。

正：

Note - 本機能はネットワークの帯域幅ではなく、実際に転送するフレームに対する L2 ヘッダーを含むデータの転送速度の帯域を制限します。

MAXBANDWIDTH パラメーターで設定される最大帯域幅にはイーサネットフレームのプリアンブルなどのオーバーヘッドは含まれないため、トラフィックのフレームサイズが小さいほど誤差が大きくなり、設定値に対して最大 1.5 倍程度の誤差が発生します。

4 未サポートコマンド (機能)

以下のコマンド (パラメーター) はサポート対象外ですので、あらかじめご了承ください。

```
SET HTTP SERVER PORT
SET SYSTEM LANG
SET SYSTEM FAN
RESET PORTAUTH[={021X|MACBASED|WEBBASED|AUTO}] PORT={port-list|ALL}
LOAD METHOD=TFTP FILE=filename SERVER=ipadd BOOT
SET IGMP Snooping HOSTSTATUS
SET MLDSnooping HOSTSTATUS
```

ENABLE PORTAUTH
DISABLE PORTAUTH
SET PORTAUTH AUTHMETHOD
SET PORTAUTH DHCPSEVER
SET PORTAUTH PORT
ADD PORTAUTH PORT SUPPLICANTMAC
SET PORTAUTH PORT SUPPLICANTMAC
DELETE PORTAUTH PORT SUPPLICANTMAC
SHOW PORTAUTH
SHOW PORTAUTH PORT
ADD RADIUSSEVER SERVER
DELETE RADIUSSEVER SERVER
SET AUTHENTICATION
SET RADIUS
SHOW AUTHENTICATION
SHOW RADIUS
ENABLE RADIUSACCOUNTING
DISABLE RADIUSACCOUNTING
SET RADIUSACCOUNTING
SHOW RADIUSACCOUNTING
ENABLE PORTAUTH PORT LOGTYPE
DISABLE PORTAUTH PORT LOGTYPE
SET PORTAUTH CSIDFORMAT
SET PORTAUTH USERIDFORMAT

ENABLE MLDSNOOPING
DISABLE MLDSNOOPING
SHOW MLDSNOOPING
SET MLDSNOOPING
ADD MLDSNOOPING MCGROUP
DELETE MLDSNOOPING MCGROUP
SET MLDSNOOPING MCGROUP

ENABLE DHCPSENOOPING
DISABLE DHCPSENOOPING
ENABLE DHCPSENOOPING ARPSECURITY
DISABLE DHCPSENOOPING ARPSECURITY
ENABLE DHCPSENOOPING LOG
DISABLE DHCPSENOOPING LOG
ENABLE DHCPSENOOPING OPTION82
DISABLE DHCPSENOOPING OPTION82
SET DHCPSENOOPING PORT
SET DHCPSENOOPING CHECKINTERVAL
SET DHCPSENOOPING CHECKOPTION
SET DHCPSENOOPING MACFILTER
CREATE DHCPSENOOPING MACFILTER
DESTROY DHCPSENOOPING MACFILTER
ADD DHCPSENOOPING

```
DELETE DHCP Snooping
SHOW DHCP Snooping
SHOW DHCP Snooping Port
SHOW DHCP Snooping Database
SHOW DHCP Snooping Counter
SHOW DHCP Snooping MacFilter
RESET DHCP Snooping
RESET DHCP Snooping Counter
PURGE DHCP Snooping
```

```
CREATE SNMP Community=community Trap=FAN
ADD SNMP Community=community Trap=FAN
DELETE SNMP Community=community Trap=FAN
ENABLE SNMP Trap=FAN
DISABLE SNMP Trap=FAN
SHOW SNMP Trap=FAN
```

5 最新マニュアルについて

最新の取扱説明書「CentreCOM IA810M 取扱説明書」（613-001370 Rev.A）、コマンドリファレンス「CentreCOM IA810M コマンドリファレンス 2.3.2（613-001583 Rev.A）」は弊社ホームページに掲載されています。

本リリースノートは、これらの最新マニュアルに対応した内容になっていますので、お手持ちのマニュアルが上記のものでない場合は、弊社 Web ページで最新の情報をご覧ください。

<http://www.allied-teleasis.co.jp/>